

消防はチームワークの職場

警備第1課 下川敦士（消防 平成15年度採用）

小田原市役所を志望したきっかけ

消防を志望した理由は、人の命を助ける以上の仕事はないと考え、また、私を育てた小田原に何か恩返しをしたいと、小田原消防のみを受験しました。

現在の仕事内容

現在は主に消防隊及び救助隊として、消防署の本署に勤務しています。今年、念願の救助隊員となり、先輩方の指導のもと、目下救助隊員として必要な技術や知識を習得している最中です。

仕事のやりがい

消防には様々な仕事がありますが、搬送した患者さんから感謝の言葉を頂いた時、消防、救助隊として出場して火災や事故に遭われた方を無事に救出できた時、さらに直接人を助けることを実感できた時には「消防士でよかった」と心から実感します。

消防署では事業所・学校等に対しても各種の訓練指導を行っています。先日、私が訓練を担当した学生から「消防士になりました」との連絡があり、災害現場のそれとはまた違う喜びを感じたところです。

受験生の皆さんへのメッセージ

受験に際し皆さんは、種々の不安や希望を抱いていることでしょう。しかし、消防はチームワークの職場ゆえ、心配無用です。誰かを助けたいという一念で共に頑張りましょう。



下川さん(左) と倉科さん(右)

人の命を救うため、市民の財産を守るために、様々な知識や技術を習得しなければなりません。

警備第1課 倉科竜弥（消防 平成21年度採用）

小田原市役所を志望したきっかけ

私は幼い頃、父が消防団員をしており、これがきっかけで消防に憧れを持ち受験しました。小田原消防を志望したのは、歴史深い小田原を私自身の手で是非守りたいと思ったからです。

現在の仕事内容

現在は消防隊と救急隊の隊員をしています。消防の仕事は広く、消防隊・救急隊・救助隊、さらに指令室員や様々な事務処理を行う本部職員から成っています。すべてチームワークを基本に小田原市の安全を守っています。

仕事のやりがい

今の私は、毎日が新しい発見と体験で胸躍る日々の連続です。私たちの仕事は常に人の命と向き合っているため、とてもやりがいがあり、誇り高さ仕事だと痛感しています。私はまだまだ新人であるため、これから学ぶことが山ほどあります。人の命を救うため、市民の財産を守るためには、今後様々な知識や技術を習得しなければなりません。たくさんの方の良き先輩から、多くのことを学び自分をより大きく深く成長させようとやる気満々です。

受験生の皆さんへのメッセージ

皆さんと明日の小田原を築くことを楽しみにお待ちしております。

